

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

① 第三者評価機関名

NPO 法人 ぎふ福祉サービス利用者センター ビーすけっと

② 施設・事業所情報

名称：うれしの東保育園	種別：保育所	
代表者氏名：加藤志保	定員（利用人数）： 170名	
所在地：〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋 1-39		
TEL：058-247-7233	ホームページ： www.ureshino.or.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人登豊会		
職員数	常勤職員： 20名	非常勤職員： 12名
専門職員	保育士 26名	子育て支援員 5名
	事務 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6室 乳児・ほふく室 2室	遊戯室・多目的スペース・事務室 2 調理室・医務室・相談室・トイレ 4 消火設備 13・防犯カメラ 4

③ 理念・基本方針（※転載）

<p>理念：和願愛護 和やかなほほえみをもって優しい心と言葉で接します。</p> <p>基本方針：「心も体もたくましく生き生きと遊ぶ子」を保育目標に、子どもが主体的に輝けるよう、自ら「やりたい」と心を動かし、自分自身で考え、選択し、行動する力を育みます。 そのために、心がワクワクするような保育環境を整えます。 保護者とともに、子どもの育ちを温かく受けとめます。</p>

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

【未満児保育及び子育て支援】

3歳未満児保育室等「カンガルーのおうち」は、子どもの育ちと保護者の子育て支援という考えのもと建てられている。子どもの低い目線と大人が子どもを見守る高い視線を意識し作られた木のぬくもりを感じられる建物の中で子どもたちは、一人一人の成長・発達を大切にした保育によりゆったりと安心して過ごしている。また、保護者に対しては、子育て相談などの支援が行われている。

【子どもが、その子らしく生き生きと遊びながら成長することを支援】

乳幼児教育を行う3施設を有する複合型の福祉法人に属し、170名の保育を担う大型の保育園である。法人や系列の教育施設と連携しながら、「すべては子供のために」の信念をもって愛情を注ぎながら、子どもの成長と子育て支援に力を注いでいる。身近な森林とふれ合う「ぎふ木育」や田植えなど自然との関りや、音楽療法士と共に音楽を楽しむ会など様々な体験を通して子どもの興味・好奇心、主体的な発想を大切にしながら保育を行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月10日（契約日）～ 令和5年1月11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	今回がはじめて

⑥総評

◇特に評価の高い点

【子ども主体の保育実践】

自然と関わりながら遊びと生活を通して、子どもが、その子らしく生き生きと、主体的で好奇心を持って成長することを大切に保育が展開されている。そうした子どもたちを育てる保育士等職員も、個々の得意なスキルを活かし保育場面で発揮できるシステムがとられている。各クラスでは、担任保育士のアイデアに刺激され子どもが、主体的に様々な発想を表出するな、魅力的な保育に繋がっている。

【働きやすい職場環境】

保育・教育施設向けの業務支援ツール ICT の導入やワーク・ライフ・バランスへの取り組みにより職員が働きやすい職場となっている。職員の専用休憩室の設置やノーコンタクトタイムの導入、ワールドカフェなど研修で学んだことを園で実践するなど、職員の意見やアイデアを業務等に活かせる環境がある。園全体が柔軟な発想と寛大な管理により運営されており、職員がやりがいを持って働ける魅力的な職場となっている。

【ICT活用で保護者と密な連携】

ICTを活用し、ドキュメンテーションで子ども一人ひとりの写真を撮るのではなく、子どもの年齢に応じた成長の様子が分かる映像を切り取り、保護者と共有している。登降園の管理、保護者全体への連絡、災害緊急連絡など事務効率化を図り、クラスの個々の保護者と迅速できめ細かいやり取りで信頼関係を築いている。

年計画、月案、週案、日案と連続性ある保育の実践とそのデータの蓄積で充実した保育実践に努めている。

◇改善を求められる点

【中長期計画の策定】

丁寧に企画し実践されている事業内容を、今後は中・長期計画を立案し、管理者と職員が先の見通しを立てながら展開されることを期待したい。

【安全管理】

登降園時には職員が見守り、園門の前の車道への飛び出しに注意喚起しているが、送迎が重なることも想定し、横断歩道の明示ができるか関係機関と相談し、少しでも危険な箇所へのリスク対応に備えられたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受診し、施設運営に対する客観的な評価に接することができました。評価結果につきましては真摯に受け止め、問題点を職員全員で共有し業務、運営の向上に努め、信頼される施設を目指していきます。

特に、全職員が先の見通しをもち、それぞれの職務にやりがいもてるよう研修計画もふくめ中長期計画を丁寧に立案し直します。さらに、保育実践を外部に発信し、保護者だけでなく地域にもご理解とご協力を頂きながら保育所の役割を知ってもらえるよう努力し、子育ての拠点として、子どもの目線に立った保育を実施し、更に皆様から選ばれる保育所となるよう努力してまいります。

今回、職員の聞き取り調査で、職員が保育のこと、運営のことを自分の言葉で誇りをもって語ることができたと聞き、とてもうれしく思いました。今後も共に頑張っていきます。細やかにご指導いただき、本当にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。